

2019年4月1日

## 朝礼の話 (2019年4月)

皆さんお早うございます。今年の京都市内の桜の開花日は、先月27日で例年に比べ1日早い開花となり、満開は明後日3日となっています。昨日は少し肌寒い日でしたが、市内各地は桜を楽しむ人たちで大変なにぎわいとなりました。毎年の春の景色ではありますが、桜が咲くと廻りがぱっと華やいだ空気となり、見る人の心をうきうきとさせてくれます。決算期末、期初の大変忙しいときではありますが、桜を楽しむ気持ちのゆとりをもちたいものです。ひと時手を休めて廻りの桜を楽しみましょう。

4月のはじめは桜の開花とともに新学期、新年度のスタートの時期にあたり、方々で入学式、入社式が行われています。新入生、新入社員の人たちのみならず、在校生、在籍の社員の人たちにとっても新たな気持ちでそれぞれの学業、仕事に励む節目の時期であります。我々はともすれば初心で臨んだ時の清新な志や気持ちを忘れがちになります。新年度にあたり全ての人が初心に帰り、新たなる抱負と気概をもって各自の仕事に取り組んでいただきたいと思えます。

会社は、日々の糧を得るためだけの単なる手段ではありません。皆さんそれぞれのかげがえのない人生において、会社を通じて社会と関わり、社会人としての自己を表現、実現していく重要な舞台といえます。仕事を通じて自己研鑽に励み、自らの素養、能力を磨き、自らが成長し、よりよき人格を形成していく大事な場であります。社内外を問わず仕事を通じて関わる廻りの人たちとお互いによく理解しあい、切磋琢磨し、また助け合うことが大変重要であります。そのことが自身の研鑽と成長の糧となるはずで、先輩の人たちは、新人、若手に範を示してください。時に厳しく叱ることも必要ですが、決して温かい気持ちを失くしてはなりません。新人、若手を教え、育てることで自らも成長していくものです。若手、後輩の成長は会社にとっても先輩の人たちにとっても間違いなくプラスとなります。新人、若手も決して周囲に甘えることなく、常に自己研鑽に励み、さらなる成長を目指してください。皆が元気に生き生きと働き、皆の頑張りで達成した成果を皆で喜びあえる会社にしていきましょう。

今日から新年度に入り、各部店ともに新たな目標と課題を掲げて新しい期に臨んでいることと思えます。米中の貿易摩擦、中国景気の変調、英国のEU離脱など海外の経済動向は厳しさを増しています。国内では10月の消費税増税による景気への影響が懸念されています。今一度初心に帰り、足元を見つめ直し、取引先の声を謙虚に聞き、取引先の期待に応えられるよう、全員一丸となり、目標の達成、課題の解決に取り組んでいきましょう。皆がそれぞれの持ち場で、知恵と汗を最大限に搾り出すことで、必ずよい成果が得られると信じています。

以上